

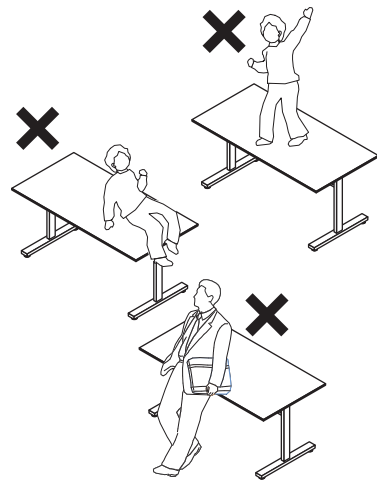
## 安全上のご注意

### ●使用上の注意

1. 天板の上に立ち上がったり、踏台代わりに使わないでください。
2. 天板の端に腰かけないでください。
3. テーブルのすべての脚が床面に着いた状態で使用してください。
4. クッションフロアの上で使用しないで下さい。床を傷つけることがあります。
5. 取り付け金具などの固定ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかり締めなおしてください。

### ●保守・点検

1. 固定用ネジがゆるんでいないか時々点検し、ゆるみ始めたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使っているとドアがこわれて、ケガをする事があります。
2. 天然素材を使用しておりますので、虫害を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入ったことも考えられますので、放置すると虫害が拡大する恐れがあります。

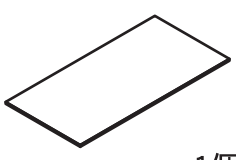
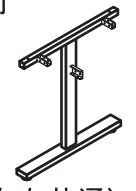


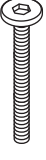
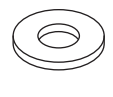



### ●手入れ方法

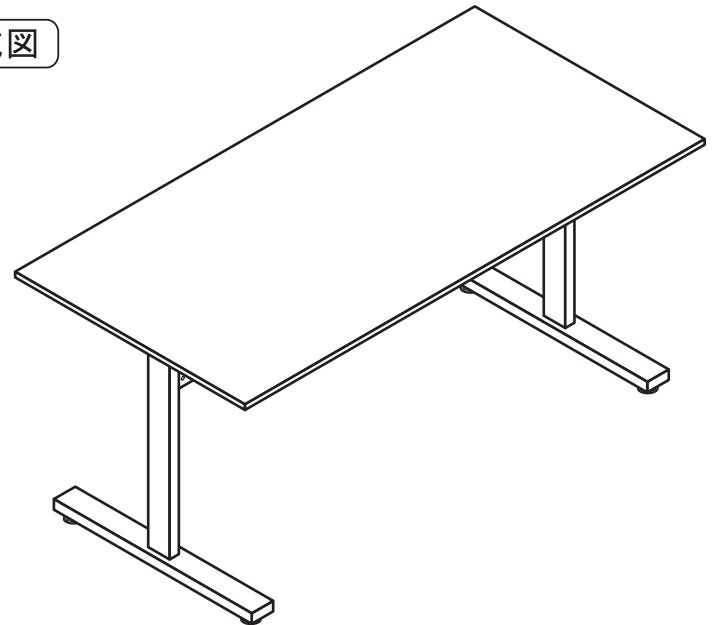
1. 日常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れのひどい時は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、よく絞った布で洗剤を拭き取り、次に乾いた柔らかい布できれいに拭き取ってください。  
※シンナーなどの揮発性の物では拭かないでください。

### ●施工上の注意

1. 本製品のねじ締め付け時には、電動工具は使用しないでください。手まわしドライバーで施工して下さい。締め付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
  2. 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含有率19%以下)を使用し、湿潤材(グリーン材)は使用しないでください。壁内の通気が悪く、内部結露するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
  3. 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
  4. 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合には、造作材・建具枠木口と床面に、必ず防水処理をしてください。
  5. 養生シートをかぶせる場合には、粘着テープ等を化粧面に貼らないでください。はがす際に、化粧シートが破損するおそれがあります。
  6. 発熱燈付近には取り付けしないで下さい。熱により、部品が変形するおそれがあります。
- ※正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読み頂き大切に保管してください。

パーツリスト			
①天板  1個	②脚  (左右共通) 2個	③支柱  1個	④ボルト小  24個 (+予備1個)
⑤ボルト大  4個	⑥ワッシャー  4個	⑦六角レンチ  1個	

### 完成図



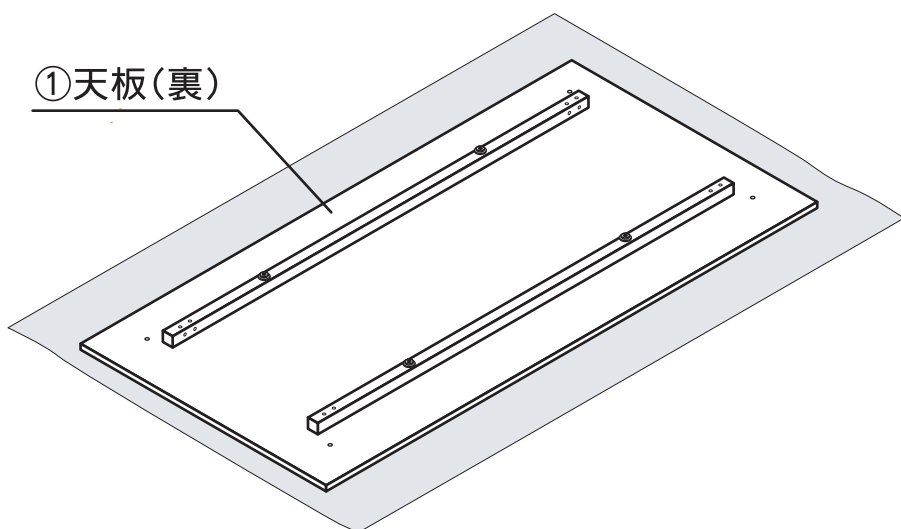
## 《組立前の注意》

- ※組立ての前に本書をよくお読みになって、正しく組み立ててご使用ください。
- ※組立ての前に部品・部材の数量を確認してください。
- ※組立ての際、ケガをしないように必ず手袋を着用してください。

## 《組立手順》

### 1 天板の確認

- ①天板を裏返して、揃えて置きます

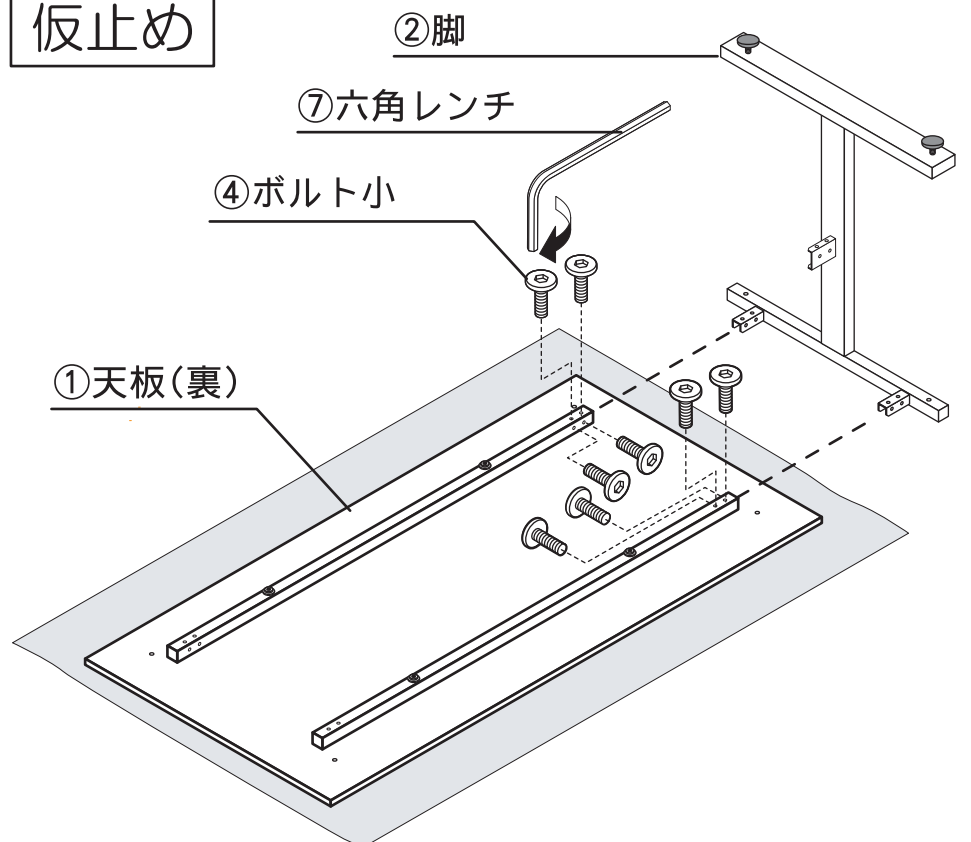


※必ず敷物の上に商品を置き、作業を行ってください。

### 2 脚の取り付け

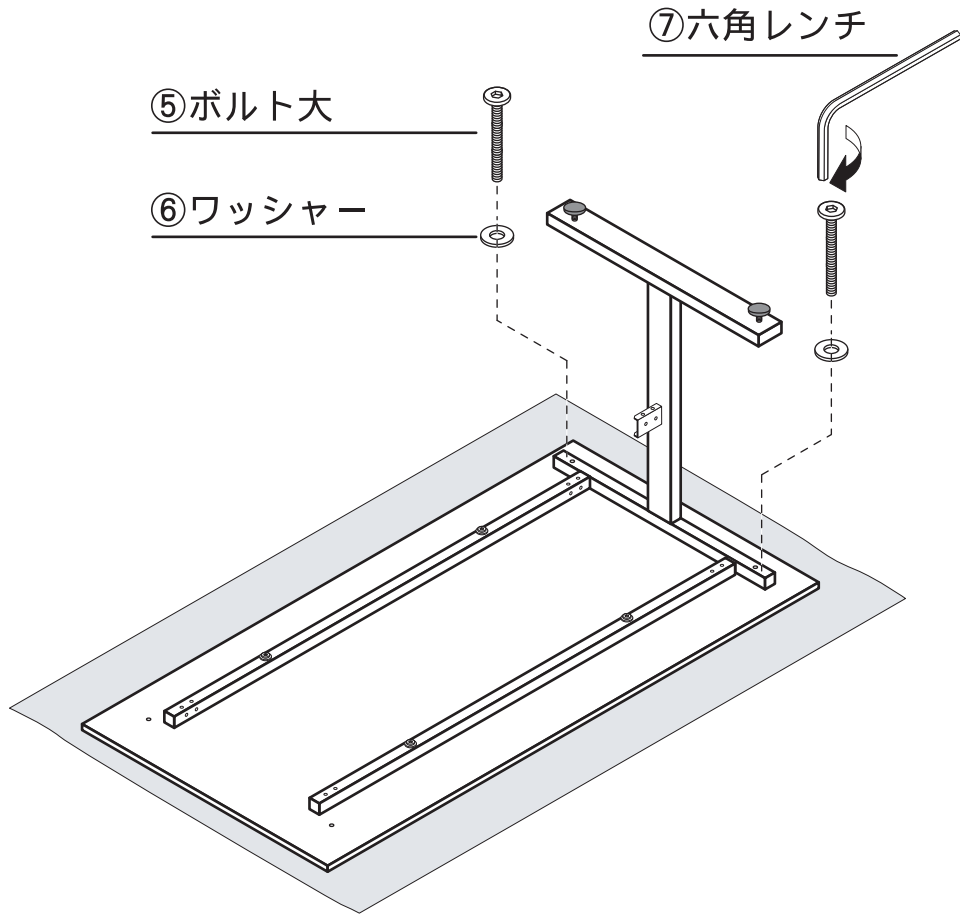
- 天板の支柱に合わせて、②脚を下図の様に差し込み  
天板の支柱に合わせて④ボルト小を⑦六角レンチで締め、仮止めします。

### 仮止め



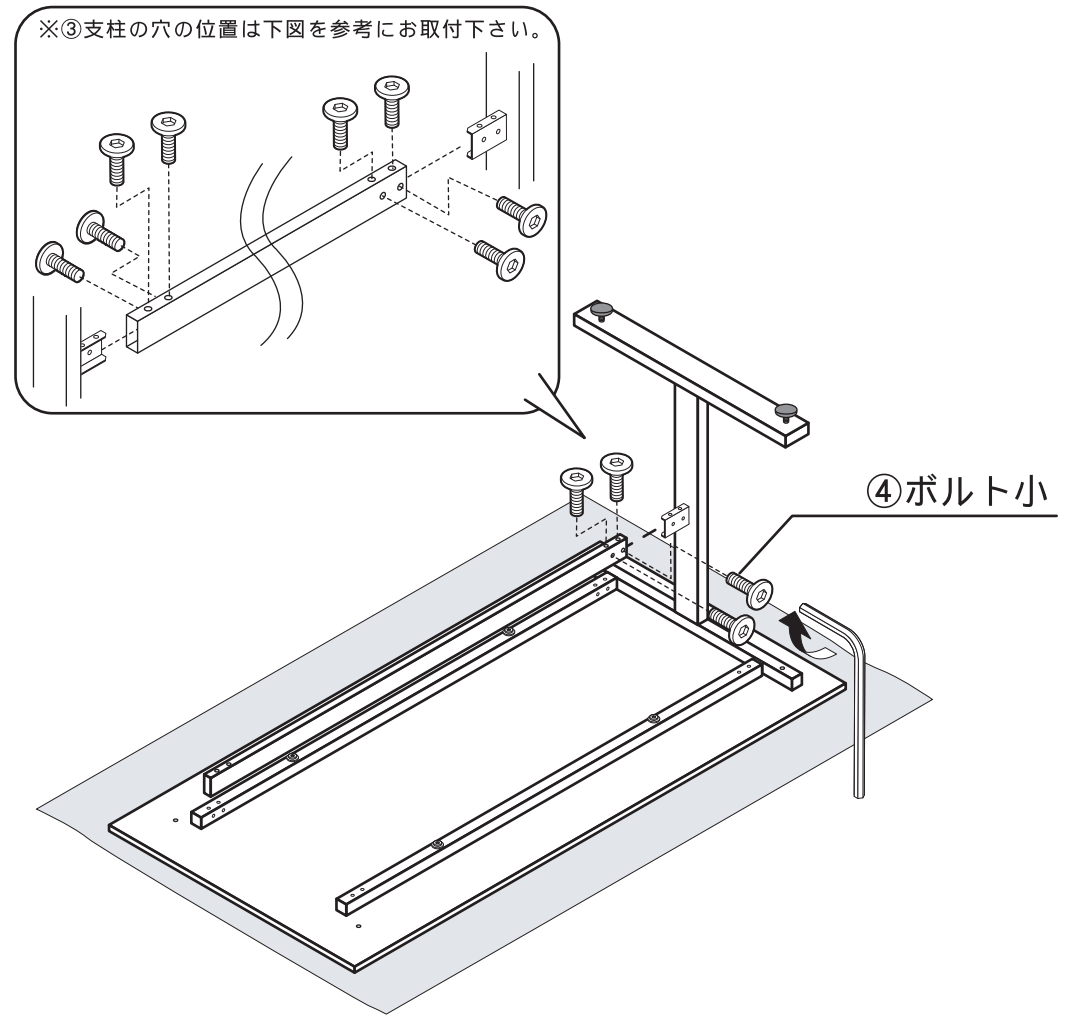
### 3 脚を天板に固定

取り付けした脚の下図の位置に、  
⑦六角レンチを使用し、⑥ワッシャーを通し、⑤ボルト大を仮止めします。



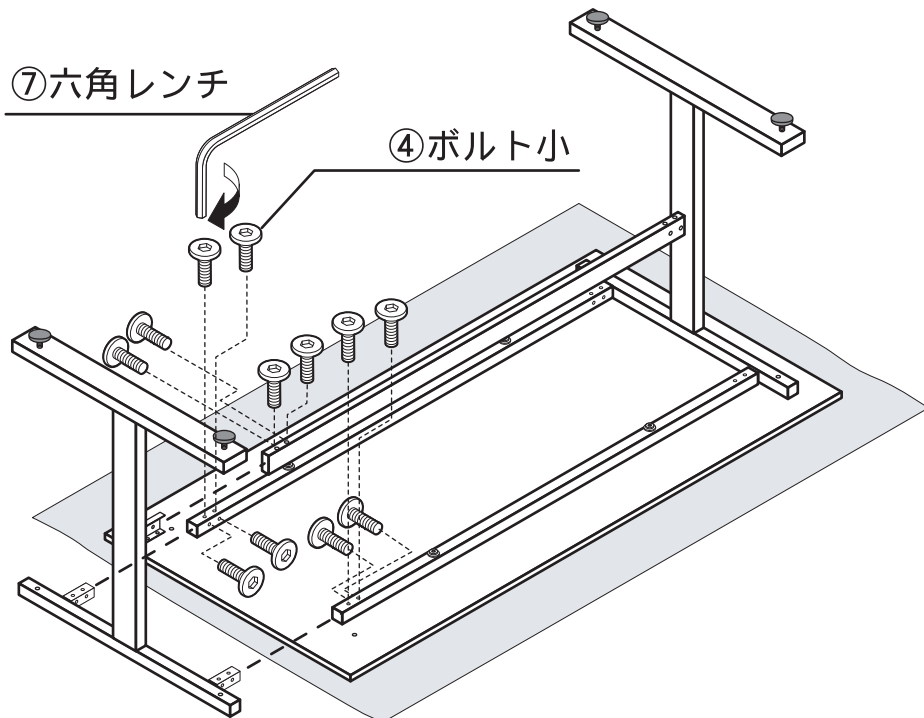
### 4 支柱の取り付け

③支柱を脚に取り付けます。  
⑦六角レンチを使用し、④ボルト小で仮止めします。



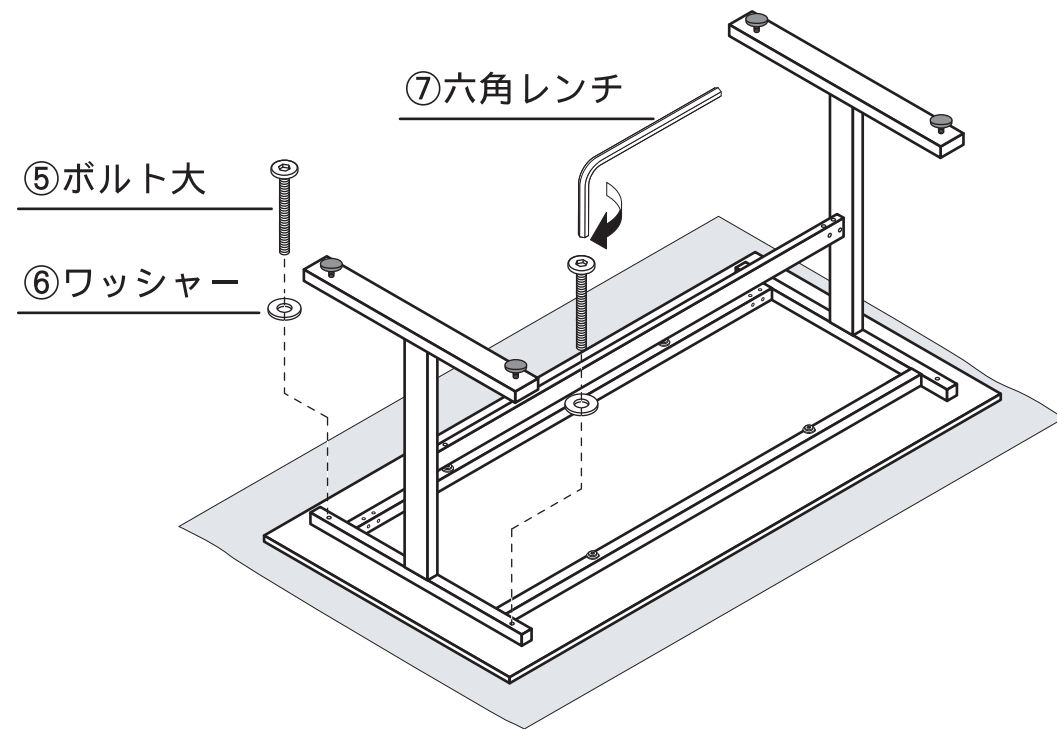
### 5 脚の取り付け

もう一方の脚も同様に差し込み、  
④ボルト小を⑦六角レンチで締め、  
仮止めします。



### 6 脚を天板に固定

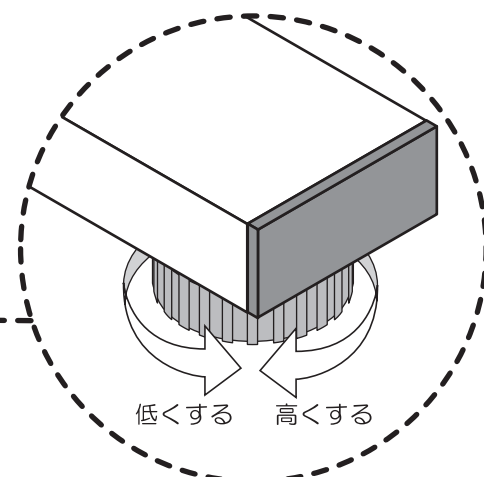
同様に天板と脚を  
⑦六角レンチを使用し、⑥ワッシャーを通し、⑤ボルト大を仮止めします。



※最後にすべてのボルトを増し締めして下さい

### 7 完成

本体を起し、完成です。  
(必ず2人以上で、作業を行ってください。)



アジャスターを回してデスクが  
水平になる様に調整してください。